

平成 26 年度 第 2 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 26 年 6 月 3 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 402 会議室

第2回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成26年6月3日（火） 午前9時30分 ～ 午前10時46分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所402会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

杉本健三	委員長	田中真人	委員
金本一二	委員	西岡章寿	委員(教育長)

事務局

岡崎悦也	教育部長	榎谷米男	教育部次長
澤田志保	教育総務課長	志水良和	学校教育課長
田村純司	こども未来課長	田路正幸	社会教育課長
清水敬司	給食センター所長	橋本 徹	教育総務課副課長

3 開会

開会に先立ち、杉本健三委員の任期が6月2日で満了するにあたり、6月1日の宍粟市議会定例会において、同委員の教育委員の任命について議会の同意を得たこと、またその任期は本年6月3日から平成30年6月2日までであることを、澤田教育総務課長が説明した。

杉本教育委員長が開会した。

4 会議の成立宣言

弓削委員の欠席により、出席者数は4名となり、杉本教育委員長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、杉本委員長の指名により、次のとおり決定された。

金本委員

6 前回会議録の承認

第1回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における議事1件及び協議事項、報告事項の会議録について、澤田教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の2点について西岡教育長が報告した。

学校規模適正化・幼保一元化等推進状況について

三土中学校の閉校に向けて、4月18日、4月23日に校区住民を対象に、26年度の学校運営・生徒交流の取組や学校跡地活用等について、さらには閉校記念事業の取組について説明を行い、三河地区、土万地区とも了承いただいた。その後、4月30日に閉校記念事業実行委員会（仮称）の準備会の開催があり、5月27日に第1回閉校記念実行委員会が開催され閉校記念事業についての協議を進められた。

また、5月20日、三土中学校事務組合教育委員会において、三土中学校配置条例を廃止する条例案提案が同意され、5月23日、三土中学校組合議会において同条例案が議決された。これを受け、宍粟市議会6月定例会で組合の解散と財産処分に関する議案が上程された。

千種中学校区幼保一元化については、6/2、第8回協議会開催され、27年4月開園に向けての協議を進めていった。なお、千種認定こども園と図書館の造成工事は業者が決定し、先日地元説明会を行った。

一宮南中学校区、一宮北中学校区の「幼保一元化の地域の委員会」は、6/3、6/4に開催され協議に入ることになった。

伊水・都多小学校の学校規模適正化と幼保一元化について、両校区の地域の委員会保護者代表者によりアンケート内容の調整をされた。

その他事業について

第9回さつきマラソン大会が、4月20日（日）山崎スポーツセンターで開催され、2,000人を超える方が20部門に分かれて参加された。最も遠くは青森県からの参加であった。

また、そのほか、5月30日に宍粟市人権・同和教育研究協議会総会がセンターいちのみやにて、5月21日に宍粟市体育協会総会が宍粟市役所にて、それぞれ開催された。

8 議事

議事に入る前に、第3号議案、第4号議案は、人事案件につき会議規則第6条第1項第1号の規定に基づき非公開にしたいと委員長が説明した。審議の結果、全員「異議なし」とし、第3号議案、第4号議案は非公開審議が決定された。

第2号議案 兵庫県佐用郡佐用町・宍粟市三土中学校事務組合の解散に関する意見について

三土中学校においても少子化による生徒数減少並びに増加が見込めず、さらに教育上の観点から将来の中学校のあり方等を総合的に判断し、三土中学校事務組合教育委員会において、平成27年3月31日をもって三土中学校を閉校することが決定され、平成26年5月23日開催の第94回三土中学校事務組合議会においても学校の設置に関する条例を廃止する条例が可決された。これを受け、三土中学校事務組合の解散議案が構成市町である宍粟市議会に上程され、地方自治法288条の規定により議会議決にあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行令第12条の規定により、宍粟市議会議長から、教育委員会に意見が求められたものであることを、澤田教育総務課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし決定された。

9 報告事項

(1) 学校規模適正化・幼保一元化等推進の状況について

資料1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、教育総務課 澤田課長、こども未来課 田村課長が報告した。

(2) 通学路の交通安全確保に向けた着実かつ効果的な取組推進の実施について

資料2「通学路の交通安全確保に向けた着実かつ効果的な取組推進の実施について」により、教育総務課 澤田課長が報告した。

(3) いじめ防止基本方針検討会議について

資料3「宍粟市いじめ防止基本方針検討会議要綱」「宍粟市いじめ防止基本方針検討会議開催要項」「宍粟市いじめ防止基本方針検討会議委員名簿」「宍粟市いじめ防止基本方針の骨子について（案）」により、学校教育課 志水課長が報告した。

(4) 全国学力・学習状況調査結果公表方針について

資料4「宍粟市の全国学力学習状況調査結果公表について」により、学校教育課 志水課長が報告した。

(5) 26年度6月補正について

資料5「平成26年度 6月補正予算概要」により、学校教育課 志水課長が報告した。

(6) (仮) 千種認定こども園敷地造成工事の開札結果について

資料6「開札結果表」により、こども未来課 田村課長が報告した。

(7) 宍粟市指定文化財興国寺山門修理工事の完了について

資料7「宍粟市指定有形文化財興国寺山門修復工事報告書」により、社会教育課 田路課長が報告した。

(8) 宍粟市立学校給食センター支部運営委員会設置要綱の改正について

資料8「宍粟市立学校給食センター支部運営委員会要綱の一部を改正する要綱」により、学校給食センター 清水所長が報告した。

(9) その他について

資料9「平成26年度学校訪問実施予定表」により学校教育課 志水課長が、資料10「宍粟市民大学受講生募集」により社会教育課 田路課長が、資料11「宍粟市青少年育成委員会委員名簿」により学校教育課 志水課長が報告した。また追加として、冊子「播磨国宍粟郡広瀬宇野氏の史料と研究」により社会教育課 田路課長から追加の報告があった。

委員の主な意見及び事務局の説明

(田中委員)

学校規模適正化に伴う閉校に向けての取組や式典の実施主体は、協議会、校区、教育委員会、自治会などいずれが取組むのか、また、実施主体について決め事はあるのか。そして、それは校区によってその取組は違うのかをお聞きしたい。また今年度は、閉校する小学校が3校あり、開催日が重ならないように配慮願いたい。

(澤田課長)

閉校記念事業は小学校区ごとに実行委員会を組織し記念事業に取り組んでいただいている。波賀でも3小学校区それぞれで実行委員会が組織されている。また、閉校式の式典は市主催で執り行うが、これまで、式典後の第2部を実行委員会主体で実施されたり、運動会等の学校事業においてアトラクション等を記念事業として、取組まれたところもある。協議会は、閉校記念事業のお知らせや、閉校式典等の実施内容の情報共有の場としている。

閉校記念式典は、3月1日が野原小が、3月8日が波賀小、3月15日が道谷小と、開催日を決定した。

(金本委員)

千種中学校区の幼保一元化地区協議会の委員は、年度も替わり新しい委員があると聞くが、委員名簿構成はどのようなになっているか。

学校規模適正化により今春、山崎西小学校が開校しバス停留所表示は山崎西小学校となっているが、学校前の信号機表記が菅野小学校前となっている。手続きもあると思うが、早く変更をお願いしたい

(岡崎部長)

7人の委員が替わっておられる。あとでコピーにより委員名簿をお持ち帰りいただきたい。昨日の幼保一元化協議会では、委員構成が替わったこともあり1年間かけた議論が戻らないように、決定事項と今後の協議事項の整理を行った。こども園の建物は、金本委員から2階建てによる防災面強化に対する検討、地域から職員室の南向き配置の検討など配置面の検討課題もあったが、昨日、建物配置面について現計画で理解、承認をいただいた。

(澤田課長)

道路管理者である兵庫県に信号機表記変更の依頼を行い、変更はされるが時期は未定である。今後は、関係機関への働きかけを早期に行うようにしたい。

(金本委員)

いじめと不登校は関連性があるといわれている。いじめ防止検討委員会の委員に、地域の児童をよく知る主任児童委員を1人でも加えてはどうかと思うがどうか。また、主任児童委員にいじめに関する情報提供もお願いしたい。

(志水課長)

現時点で学校側から主任児童委員に対し詳しい情報を出し切れていないこともあり、委員就任のお願いとまではいかなかった。今後の重篤な事案発生時に何らかの形で関わってもらおうという視点は必要かと考える。

(委員長)

いじめ防止検討委員会等の委員構成は、PTA会長や学校長等になることが多い。学校が知らずとも住民や児童委員は知っていることもあり、今後の委員構成では考えてもらいたいことである。いじめの基本方針は県の方針もありそれに準じた形が多くあるが、地域をよく知る人を委員にするといった視点、スタイルで今後検討願いたい。

6月補正予算概要のひょうごがんばりタイムは県委託事業で制約もあり、実施校を山崎小、城下小の2校とならざるをえないようだが、今後、何らかの形で全小学校に展開する方向性はあるのか。当初は2学校だが長期的な視点を持って進めてもらいたい。

(志水課長)

現状では今回実施2校が本事業の狙いとするのが達せられたなら、全学校に広げて行きたいと考えているが、現時点では、明確な年次計画はまだ持っていない。

(岡崎部長)

宍粟市の南部北部の地域特性もある。元々、念頭にしていたのは大学生に協力を求めることを視野に、交通の便を考えて南部地域における取組の検討を始めた。ただ、検討を進めるうちに大学生協力の環境等条件にも課題があり、高校生の予定となった。今回南部地域の2校で取組を進めるなか、北部地域では地域との関わりを検討するなど、地域特性によって手法を変えなければ、継続的な取組も難しいかなとも感じてはいるが、長期的な取組をめざしている。

10 その他

次回会議の招集について

平成26年7月16日（水）午前9時30分から、第3回宍粟市教育委員会を開催すると決定した。

11 閉会

田中委員が閉会した。

以上